

学府あいさつ運動で小・中・地域の大人が交流

ながふじ学府では、毎年、春と冬の朝に「学府あいさつ運動」を行っています。2日間×3回、PTAの役員さんや豊中サポーターさんなど、地域の大人が学校へいらして下さり、生徒会役員と生活委員の生徒たちと一緒に、登校してくる児童、生徒、先生にあいさつをしています。



学府内の豊田東小には、中学生の生活委員（東小出身）の生徒と、サポーターさんが来校して、みんなで小学生を出迎え、あいさつをします。今年は5月末と、12月、2月に計画しています。

この日は12月でしたが、冬とは思えない暖かさで、みんな元気にあいさつをして、昇降口へ入って行きました。



今回、いつものように、サポーターの市川さんがハイタッチをしながら元気に挨拶。「おはようございます！元気ですか〜？」と声を掛け、子ども達や先生方もそれに応えて、「元気です！」と笑顔になっていました。



中学生も、手に大きな手型のスポンジを付けてタッチ！小学生からの注目度がグッと上がり、お互い楽しそうにタッチしていました。

朝から楽しく、中学生と小学生、地域の方々と子ども達が交流できて、元気な朝になりました。次は2月です。これから寒さが厳しくなりますが、次回もよろしくお願いします。